

紀元2世紀の 浜松を考える

～ 弥生時代後期、伊場遺跡とその時代 ～

第6回 天竜川平野へ進出した弥生人

当初予定していたタイトルを変更して開催します。

旧南区やその周辺の平野部では、弥生時代後期に遺跡数が増え、銅鐸の出土も知られています。本講座では、天竜川の氾濫原を含むこの地域に人々が進出する過程と、当時の社会集団のあり方をご紹介します。

日時 ▶ 令和7年**9月20日(土)**

午前10時～12時

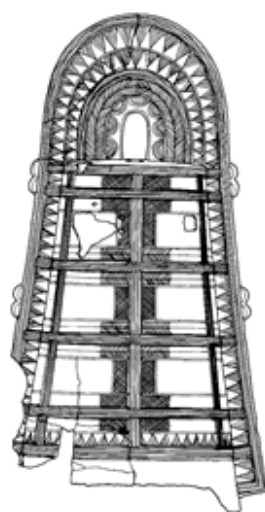
講師 ▶ **井口美奈さん**
(浜松市博物館)

参加
無料

場所 ▶ 浜松市立南陽図書館
2階 講座室

定員 ▶ 30名(申込先着順)

申込 ▶ 7/22(火)10時から
浜松市立南陽図書館へ直接
または☎053-426-1000まで



▲ツツミドオリ銅鐸と出土地付近の石碑

南陽中学校の南側を流れる芳川のほとりから、2点の銅鐸が出土しています。